

第 6 1 回 四国高等学校柔道選手権大会要項

- 主催** 四国高等学校体育連盟・徳島県教育委員会・四国柔道連盟
後援 (財)徳島県体育協会・鳴門市教育委員会・鳴門市体育協会
管 徳島県高等学校体育連盟・徳島県柔道連盟
- 1 期 日** 平成 2 4 年 6 月 1 6 日 (土)・1 7 日 (日)
 (1) 開会式 6 月 1 6 日 (土) 9 : 0 0
 (2) 競 技 6 月 1 6 日 (土) 9 : 1 5 男子団体・女子団体試合
 6 月 1 7 日 (日) 9 : 0 0 男子個人・女子個人試合
- 2 会 場** 鳴門・大塚スポーツパークソイジョイ武道館 (鳴門総合運動公園武道館)
 徳島県鳴門市撫養町立岩字四枚 61
 TEL (088) 685-3131 FAX (088) 685-3132

- 3 競技種目** 男子団体・男子個人 (60kg・66kg・73kg・81kg・90kg・100kg・100kg 超) 7 階級
 女子団体・女子個人 (48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg 超) 7 階級

- 4 競技規則**
- (1) 国際柔道連盟試合審判規定による。但し、申し合わせ事項を含む。
 - (2) 「優勢勝ち」の判定基準 (平成 2 4 年度全国高等学校総合体育大会要項に準ずる)
 - ア 団体試合は、「有効」又は「指導 2 回目」以上とする。
 - イ 個人試合は、「有効」又は「指導 2 回目」以上とする。得点差がない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。
 - ウ 試合時間は、男女に関わらず、団体・個人試合とも 4 分とする。

5 競技方法

[男子の部]

- (1) 団体試合 (点取り試合)

ア 予選リーグ

- (ア) 参加 1 6 チームを 4 グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ第 1 位のチームが決勝トーナメントに進出する。
 (イ) 組み合わせは次のようにし、各チームとも他県のチームと対戦するようにする。

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位
A 組	a	b	d	c
B 組	c	d	b	a
C 組	b	c	a	d
D 組	d	a	c	b

※ a b c d がどの県になるかは抽選による。

- (ウ) 順位は次の基準によって決定する。
- (a) 勝ち数 (チーム単位) の多いチームを上位とする。
 - (b) 負け数 (チーム単位) の少ないチームを上位とする。
 - (c) (b) で同等の場合は、リーグ戦を通じての勝ち数 (個人単位) の多いチームを上位とする。
 - (d) (c) で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (e) (d) で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (f) (e) で同等の場合は、リーグ戦を通じての負け数の少ないチームを上位とする。
 - (g) (f) で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - (h) (g) で同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - (i) (h) で同等の場合は、代表戦を 1 回のみ行う。(ゴールデンスコア)

イ 決勝トーナメント

- (ア) 準決勝に同県から3チーム以上進出してきた場合は組み合わせ通り試合をする
が、同ゾーンに2チームが進出してきた場合、同ゾーンにおいて抽選し、各チ
ームを他のゾーンに移して、同県チームとの対戦を避ける。
- (イ) 同点の場合は、代表戦を1回のみ行う。(ゴールデンスコア)

ウ その他

- (ア) 試合は5名で行う。
- (イ) 試合ごとのオーダー変更を認める。

(2) 個人試合

ア 体重別試合とする。

イ トーナメント方式で実施する。(単純敗者復活方式)

ウ 選手の変更は選手変更届(選手の所属する学校長印が必要)を監督会議の際に
提出し変更すること。なお、選手が前日の団体試合で負傷するなどし、出場不可
能になった場合は、個人試合当日の8時50分まで受け付ける。選手はその県の
団体試合出場校より補充する。団体試合出場校は、氏名を空欄にした選手変更届
を準備すること。

[女子の部]

(1) 団体試合(点取り試合)

ア 予選リーグ

- (ア) 参加8チームを2グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ第1位・2位
のチームが決勝トーナメントに進出する。
組み合わせは次のようにし、各チームとも他県と対戦するようにする。

	第 1 位	第 2 位	第 1 位	第 2 位
1 組	a 1	b 2	c 1	d 2
2 組	b 1	a 2	d 1	c 2

- (イ) 判定基準及び順位は男子に準じる。

イ 決勝トーナメント

- (ア) 準決勝は組み合わせ通り試合する。(同県対戦の場合も他のゾーンに移さない)
- (イ) 勝敗が同じ場合は男子と同様に行う。

ウ その他

- (ア) 試合は3名で行う。
- (イ) 試合ごとのオーダー変更を認める。

(2) 個人試合

男子個人試合と同様とする。

6 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)
に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技実施要項により、
四国大会参加の資格を得たものに限る。
- (3) 平成24年度、各県柔道連盟(協会)を経て、全日本柔道連盟に登録を完了した者。
- (4) 年齢は、平成5年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技
3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程による混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を
認める。
- (7) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、
一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可が
あればこの限りではない。
- (8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高
等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
ア 前記(1)(2)に定める生徒以外で、実施要項により大会参加資格を満たすと判断さ
れ、各県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会
参加を認める。

イ 前記(4)アのただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 四国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場を認められ、四国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際して守るべき条件
 - ア 四国高等学校選手権大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 7 引率・監督**
- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
 - (2) 監督は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険)等に必ず加入することを条件とする。
 - (3) ただし、上記(1)(2)について各県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

8 参加制限

〔男子の部〕

- (1) 団体試合は各県4チームとする。チームは監督1名、選手6名(5名でもよい)で構成する。
- (2) 個人試合は各県体重別各階級4名で編成する。
- (3) 外国人留学生は卒業を目的として入学していることとし、短期留学は認めない。チーム人員は1名以内とする。個人試合については人数の制限は設けない。

〔女子の部〕

- (1) 団体試合は各県2チームとする。チームは監督1名、選手4名(3名でもよい)で構成する。
- (2) 個人試合は各県体重別各階級2名で編成する。
- (3) 外国人留学生の規定は男子と同様とする。

9 参加申込

- (1) 参加校は、所定の申込書を2部作成し、1部は下記(2)のアへ直接、他は各県専門委員長がとりまとめて所属高体連事務局へ送付すること。
個人試合の申し込みも同様とするが、各県専門委員長は当該県の個人試合出場者の一覧を作成してアに送付すること。

- (2) 申込先

ア 〒771-1153 徳島県徳島市応神町吉成字中ノ瀬40-6
徳島県立徳島北高等学校内 井内 健人 宛
TEL(088)698-8004
FAX(088)698-8184

緊急の場合はFAXでも仮の申し込みを受け付けるが、必ず正式な参加申込書を送付すること。ただし、FAXで申し込んだ場合は、申込時に電話で確認すること。

イ 所属高体連事務局

(3) 申込期日 平成24年6月8日(金) 必着

(4) 参加申し込み後の棄権

団体種目の申し込み後の参加取り消しは、直ちに開催県専門部に報告し、理由書を校長より所属高体連会長宛に提出すること。なお、団体、個人とも納入した参加料の払い戻しはしない。

10 参加料 (1) 団体 1チーム 15,000円
(2) 個人 1人当たり 1,600円

11 表彰 (1) 3位までの入賞チーム並びに個人に表彰状を授与する。
(2) 優勝チームには大会要項に示された編成数の表彰状を授与する。
(3) 優勝した団体・個人にメダルを授与する。

12 宿泊 (1) 宿泊料金 1泊2食 7,665円(7,300円+消費税)とする。
弁当を申し込んだ場合は700円(税込)を別途支払う。
(2) 申込方法 宿泊先斡旋希望者は、別紙申込書に必要事項を2部記入し、参加申込書と同時に申し込むこと。
(3) 申込先 参加申し込み(2)のア宛に申し込むこと。
チームが開催県を通さず宿泊を決める場合があるが、連絡等で困るので必ず開催県を通すこと。
(4) 申込変更 申し込み後、日程・人員などの変更をする場合は、必ず業者及び宿舎へ直接連絡すること。

13 諸会議 (1) 監督会議 6月15日(金) 16:00 アミノバリュホール視聴覚室
(鳴門総合運動公園体育館)
(2) 審判会議 6月16日(土) 8:30 ソイジョイ武道館(鳴門武道館)
6月17日(日) 8:30 //

14 日程 6月15日(金) 13:00~17:00 ソイジョイ武道館(鳴門武道館)
6月16日(土) 8:00 試合会場開場
9:00~ 開会式
9:15(開会式終了後) 競技開始(男子団体・女子団体試合)
6月17日(日) 8:00 試合会場開場
9:00~ 競技開始(男子個人・女子個人試合)
14:00(個人試合終了後) 閉会式

15 計量 個人試合の計量は次の日時、場所で行い、計量に合格しない者は出場できない。
日時 6月16日(土) 14:00~15:00
場所 ソイジョイ武道館(鳴門武道館)
① 時間内であれば何回でも計量できるものとする。
② 女子の計量はTシャツと柔道着ズボンで、+1kg未満までの超過を認める。。

16 連絡事項

- ① 選手変更は監督会議で受け付ける。
- ② 競技中の疾病・傷害については、応急処置はするが、その他の責任は負わない。
- ③ 参加選手は健康保健証を持参すること。
- ④ 出場選手はゼッケンを各校(各個人)で用意し、柔道着の背面に縫いつけること。
男子は黒字、女子は赤字。(サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。)
- ⑤ 会場までの交通機関 JR鳴門駅下車徒歩30分